



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

中心の無い・誰一人取り残さない
全員参加の持続可能な地域づくり

畑中 直樹

(はたなか なおき)

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)
取締役 部長(サステナビリティ マネジメント) 兼名古屋事務所長



○ 登録者情報

所在地

大阪府大阪市

略歴

(一財)地域総合整備財団(ふるさと財団) 地域再生マネージャー(2020～)
博士(環境科学)、認定都市プランナー(環境・エネルギー/低炭素対策)
大阪大学工学部環境工学科卒業、(株)地域計画建築研究所(アルバック)(1988～)
大阪大学大学院工学研究科招聘教員(環境・エネルギー工学専攻)(2019～)
和歌山大学システム工学部非常勤講師「環境経済・環境政策」(2011～2017)
(財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター 客員研究員(2004～2006)
ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)、一般社団法人 ひょうご持続可能地域づくり研究所(HsI) 代表理事(2015～)
湖東地域材循環システム協議会/一般社団法人kikito 監事(2010～) ※平成27年度ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞
特定非営利活動法人 森と地域・ゼロエミッションサポート倶楽部 理事(2006～)
特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム アドバイザー・正会員(2003～) ※平成26年度環境大臣表彰「自然環境保全活動部門」受賞
特定非営利活動法人 北はりま田園空間博物館 理事会オブザーバー・正会員(2002～) ※平成17年度第3回オーライ!ニッポン大賞受賞
兵庫県都市木造建築支援(旧CLT建築実証)協議会 事務局長(2017～)

著書・論文等

『暮らしに生かす再生可能エネルギー入門』—スマートハウス・スマートコミュニティー、家の光協会(共著)
『福岡県大木町における生ごみ・し尿・浄化槽汚泥資源化の多面的効果に関する研究』環境情報科学学術研究論文集28(2015)
『バイオマス循環事業の多面的効果に関する研究』九州地区国立大学教育系・文系研究論文集No.13(2014)
『低炭素都市づくりの動向と実践』日本都市計画学会関西支部だより(2010)
『中国地方の小水力の歴史』(2009)
『兵庫県宍粟市をモデルとした森林CSRの制度設計に関する調査研究』(2008)
『日本における地域に根ざした環境ビジネス～社会的企業の胎動の中で～』(財)地球環境戦略研究機関(IGES)関西研究センター ディスカッションペーパー(2006)
『地域環境づくりにおける参画と協働』ひょうご自治(2003.9)
『知多半島の歴史と現在』—ため池をくらしに活かす—、校倉書房(共著)
『沿岸都市とオープンスペース』—沿岸域と環境管理計画—、都市文化社(共著)
『地域計画のための都市環境容量の評価に関する調査研究』土木計画学研究発表会(1995) 等

○ 中心の無い・誰一人取り残さない 全員参加の持続可能な地域づくり

取組の内容

一貫して地域の環境問題・持続可能な地域づくりに取り組むかわら、(財)地球環境戦略研究機関(IGES)客員研究員、大学非常勤講師(環境経済・政策)、行政の各種委員等を務めるとともに、自然再生や森林・木材関係のNPO等の役員としても多数活動しています。

SDGs関連では、SDGs未来杜市真庭市において、「歴史を生かした里山資本主義による持続可能な未来集落づくり」(2018～)に取り組んでいます。

また、エコミュージアム(地域まるごと生きた博物館)については、兵庫県において「北はりま田園空間博物館」(1999スタート、2002NPO法人設立～)や「上山高原エコミュージアム」(2001スタート、2004NPO法人設立～、自然再生法に基づく協議会も設立)を立ち上げ、立ち上げ後もアドバイザーとして20年以上関わっています。

さらに、人材育成についても、「ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)」(2015設立～)を立ち上げ、持続可能な地域づくり・脱炭素を地域が中心となって地域内外の様々なステークホルダーをエンパワメントする人材の育成プログラム(座学・事業計画演習計約20講座・約20名/年)やU・Iターンのきっかけづくりとしての高校生・ユース向けの短期集中プログラムにも取り組んでいます。



ひょうご持続可能地域づくり機構



上山高原エコミュージアム

実績

■SDGs

「SDGs未来杜市真庭市 歴史を生かした里山資本主義による持続可能な未来集落づくり」: 地域マネジメントの協議会の法人化、各種事業化等現在取組中

■エコミュージアム(地域まるごと生きた博物館)

「北はりま田園空間博物館」: 地域資源サテライト登録(有料)約200箇所 特産品年間売上約1.5~2億円 年間を通じて登録サテライト体験プログラム 2020サテライトツアー法人新設

「上山高原エコミュージアム」: ススキ草原再生面積約50ha ススキ茅出荷約1500束 他かき餅等特産品年間売上約200万円 年間を通じて各種有料体験プログラム

■人材育成

「ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)」: 独自認定のサステナビリティオーガナイザー(持続可能地域士)述べ約50名 修了生が地元で各種取組 2020年度現在5期生育成中

工夫した点や苦勞した点

サステナビリティ(持続可能性)を確保する上で重要なのはダイバーシティ(多様性)と考えています。このため、エリア(地域)マネジメントにおいては、地縁型コミュニティとテーマ型コミュニティを織りなす体制や、意思決定の場と事務局をバランスさせた体制(国連型)など、特定のキーマンに過度に依存しない、誰一人取り残さない(Leave No One Behind)全員参加型、ティール型組織になるよう心がけています。また、10年単位で先を見ずえた、担い手の育成も大切にしています。

ひとことPR

特に重要である2030年までの10年間で、SDGs、地域循環の視点から、地域のみなさんが中心となりながら、地域資源を活かし、脱炭素・マテリアルの転換や様々な地域課題の解決に、地域の脆弱性に(誰一人取り残さないよう)目配せしながら互いに信頼関係を築き、助け合いながら、歴史やコミュニティなどの非経済的価値を大切にしながら取り組むことを大切にしています。

○ 参考

取組分野の分類

登録者の取組を12の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

1.地域資源を活用した地域経済循環	2.まちなか再生
○ 地場産品発掘・販路開拓	中心市街地活性化
○ 6次産業化	空地・空家・空きビル・空き店舗等対策
経営資源の引継(事業承継等)・起業支援	商店街活性化
○ 地域中核企業等の支援	その他
その他	
3.生活機能の維持	4.環境保全・SDGs
地域医療・福祉	○ 分散型エネルギーシステム
○ 地域交通	○ 地球温暖化対策
○ 集落機能の確保	○ 廃棄物・リサイクル対策
その他	その他
5.防災減災・危機管理	6.観光振興・交流
建築物耐震化・長寿命化	DMOとの連携
地区防災計画	インバウンド対応
BCP	○ 民泊・農泊
避難所運営	地域おこし協力隊の推進
感染症対策	その他
その他	
7.関係人口の創出・拡大	8.移住・定住促進
○ 滞在・活動の場づくり	起業・事業承継等支援
地域おこし協力隊の推進	空地・空家対策
○ 地域と関係人口の協働	地域おこし協力隊の推進
その他	その他
9.少子化対策、子ども・子育て支援	10.地域づくり人材の育成・教育
結婚・出産・子育て支援	○ 人材研修
働き方改革	○ ふるさと教育
子どもの貧困対策	○ 地域と教育機関の連携(高校魅力化・域学連携等)
その他	その他
11.自治体経営イノベーション	12.シティプロモーション・地域PR
○ 財政マネジメント(公共施設管理・公会計整備)	○ 地域ブランディング
官民連携(PPP・PFI)	メディア活用策
○ 自治体間連携	効果の把握・評価
○ 住民参加	その他
その他	

関連ホームページ

株式会社 地域計画建築研究所(アルパック)	http://www.arpak.co.jp
ひょうご持続可能地域づくり機構(HsO)	http://hso-t.com/
上山高原エコミュージアム	http://www.ueyamakogen-eco.net/

連絡先

メールアドレス	hata-nk〔アットマーク〕arpak.co.jp	その他	
---------	----------------------------	-----	--

※メールを送る際には〔アットマーク〕を『@』に変えてください。